

## ●JCOMM デザイン賞

### 副読本「私たちの暮らしを支える公共交通」と教師向け指導書

札幌らしい交通環境学習プロジェクト  
札幌市まちづくり政策局 総合交通計画部 都市交通課  
一般社団法人 北海道開発技術センター

札幌市では、札幌市内の全小学校において、交通環境学習の拡大的展開を目指し、教諭を主体としたプロジェクトメンバーで構成した会議で、小学校校長、札幌市教育委員会、行政とともに、交通環境学習の研究授業の指導案を検討し、平成 23 年度より 21 本の研究授業を実施している。

平成 26 年度に、本メンバーにおいて、小学校学習指導要領の内容に最も適した学年・教科を選定し、3 年生社会科の単元に沿った副読本を作成した。掲載内容は、札幌市に関係するものとし、子どもたちにとって、より身近に感じられる教材となっている。また、副読本に採用するイラストについては、本メンバーである教諭らにヒアリングを行い、対象となる 3 年生の授業教材として集中力を欠くようなデザイン（華美な装飾・個性的なキャラクター設定）を避け、好まれるテイストを選定した。加えて、教諭にも好まれるようトレンドも意識し、風化しづらいデザインテイストに配慮した。

平成 27 年度には、副読本を活用した研究授業を踏まえ、副読本の普及・活用を目的に、本メンバーから 5 名の教諭を選出し、プロジェクトの監修の元、教師向け指導書を作成した。指導書は、副読本に対応し、学習指導要領に準じた授業内容にするとともに、新卒の教諭でも授業づくりがしやすいよう単元構成と本時案を掲載し、授業イメージをつきやすくする工夫として、授業毎の板書も掲載した。さらに、デザイン面でも、副読本との連動性や使いやすさに配慮し、教諭の目に止まるよう興味・関心を持つ内容をポイント化し表紙に特出した。

副読本及び指導書の作成においては、教諭が教諭のために使いやすさを追求したもので、授業の指導案や資料等は、誰でも自由に使用できるように札幌市の HP に掲載している。また、本プロジェクトで実践した研究授業の指導案と副読本が平成 26 年度改訂の札幌市小学校「教育課程編成の手引き」\*で紹介された。

本市においては、今後も本プロジェクトを継続し、授業に関する資料・素材等を作成・収集し、HP の充実を図り、交通環境学習をより多くの小学校に広げていきたいと考えている。

※札幌市教育委員会発行の札幌市内の全小学校教員に配布される、学校教育の指針が明記されたもの。

### －JCOMM 実行委員会から－

秀逸なデザインの小学生用教材に留まらず、教員の使い勝手をも熟慮した教員用資料もセットとなった、機能性の高い良質な教材群です。小学校での学校 MM は総合的な学習の時間に行われることが多く、小学校の都合や政策に左右されることも多かったが、本教材は社会科の副読本として取り入れられており、その実務的可能性も高く評価されています。以上のように、意匠性、機能性、実務的可能性のいずれもバランス良い点が高く評価され、JCOMM デザイン賞に選定されました。